



# あかしの社会福祉

No.83 2014. 8.

編集・発行  
社会福祉法人  
**明石市社会福祉協議会**  
〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号  
市立総合福祉センター内  
☎(078)924-9105  
http://www.akashi-shakyo.jp

明石市社会福祉協議会

検索



## はんげしょう 半夏生 あかし七夕夜市で大いに盛り上がる!!

7月5日(土)夜に魚の棚商店街、銀座商店街、ほんまち商店街で開かれた半夏生七夕夜市に明石市社会福祉協議会も錦城地区・大蔵地区の障がい者事業所と共に参加させていただきました。当日は、浴衣姿の市民の方々に交じって障がいを持つ仲間たちも自前の商品の販売を通して大いに盛り上がり地域の方々との交流を楽しみました。また、福島原発事故で被災された子ども達を招待する「たこ焼きキャンプ」のチャリティー事業にも取り組み、南京玉簾のボランティアグループ「チェリーボンボン」もその場を盛り上げてくださり、近隣の小学生達もチラシ配りなど飛び入りのお手伝いをしてくださいました。

(参加事業所：こぐまくらぶ、さくら工房、ほのぼの作業所、ひなたぼっこ、スモールステップ)

### 目次

平成25年度主な取組みと決算の概要・・・P2  
ボランティアセンター活動の紹介・・・P4～P5  
「ボランティアセンターNEWS」が創刊・・・P7

市社協新役員(理事・監事・評議員)の紹介・・・P3  
総合福祉センターからのお知らせ・・・P6  
インフォメーション・・・P8

回																			
覧																			

平成25年度 明石市社会福祉協議会の主な取り組みと決算の概要

平成25年度は、平成23年3月に策定した「地域福祉活動計画」の3年目となり、これまでの成果を検証しながらさらなる地域福祉力向上を図るために、この計画に定める「基本理念」や「基本計画」「5つの施策」に沿った事業実施計画に基づき、市民、地域・福祉関係団体、行政など多様な主体が一体となって活動できる体制づくりを進め、より一層の地域福祉の推進に取り組んできました。

【基本理念】

それぞれの地域が、それぞれの特色を活かした方法で、「誰もが安心して住み続けることができる地域づくり」に取り組もう

【基本方針】

- (1) 住民主体で地域の福祉力・地域力を高める
(2) 人のつながりに支えられた地域の安全・安心を高めていく

【施策】

- (1) 地区社協の活動支援を強化する
(2) 担い手養成とネットワーク化支援を推進する
(3) 住民と力を合わせて人のつながりを拡げていく
(4) フォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で地域生活を支える
(5) 市社協の体制を強化・充実する

特に重点的な取り組みとして、基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センターでは、相談員の地区担当制を導入し、地域に密着した相談支援体制を構築してきました。また、地区社協の活動支援を強化するため、地区担当職員制を拡充して地区社協活動のより一層の支援を行ってきました。

◆平成25年度 資金収支決算額 (単位：円)

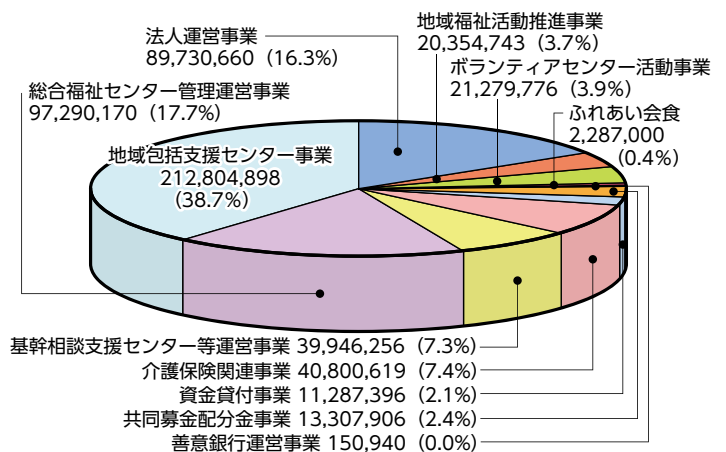
Table with columns: 勘定科目, 金額, 比率. Rows include 会費収入, 寄附金収入, 経常経費補助金収入, etc.

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

◆平成25年度 経理区分別支出額内訳 (単位：円)

Table with columns: 経理区分, 經常支出. Rows include 法人運営事業, 地域福祉活動推進事業, ボランティアセンター活動事業, etc.

(経理区分間繰入金支出を除く)



(単位：円)

## 市社会福祉協議会新役員の紹介

本会役員の任期満了に伴い、7月14日に開催された理事会、評議員会において、理事、監事、評議員がそれぞれ選任され、7月15日の理事会において理事長に和田満理事、副理事長に雲井明善理事、山下孝光理事がそれぞれ選任されました。

今回の改選では、理事及び評議員の定数を見直し、より活発な議論を行うことで多様化する福祉課題に迅速に対応し、地域福祉活動の支援を行っていきたいと考えています。

任期については、平成26年7月15日から平成28年7月14日です。(敬称略)

理 事 (24名⇒17名)			
地 域 代 表	松が丘小	小 西	庸 夫
	錦 城	紺 田	博 湖
	林 小	小 川	奉 文
	花園小	池 内	勝
	大久保	雲 井	明 善
	山手小	大 塩	宏 明
	魚 住	橋 本	浩 司
	二 見	井 上	嘉 子
各 種 団 体		山 田	信 彦
		松 本	幸 雄
		山 本	洋 子
		志 田	健 太 郎
		山 端	凱 文
行 政		和 田	満
		中 道	平 一
市 社 協		山 下	孝 光
		松 岡	正 純
監 事 (3名)			
		加 嶋	弘 之
		嘉 藤	弘 之
		松 本	茂 子

評 議 員 (49名⇒36名)						
地 域 代 表	朝霧小	堂 本	艶 子	施 設 ・ 団 体	藤 本	立 子
	大 蔵		石 橋 眞 須 子		鎌 田	広 二
			板 村		昌 和	大 谷
	大観小	近 藤	英 明		今 井	裕 二
	王子小	藤 本	庸 文		安 田	敏 郎
	藤江小	岩 瀨	晴 子		入 山	洋 子
	貴崎小	關 瀨	君 枝		平 手	秀 樹
	和坂小	安 田	政 義		奥 山	智 子
	鳥羽小	岡 野	繁 信		有 住	静 子
	沢池小	吉 田	周 知		藤 田	真
	大久保	石 井	修	横 山	光 昭	
	大久保小	中 山	義 基	野 口	明 良	
	江井島	大 西	功 二	行 政	野 村	信 一
	高 丘		三 好 和 彦		大 島	俊 和
			堀 田		茂 芳	前 沢
	魚住東		細 目 博		合 田	和 央
			山 下 広 文			
	魚 住	小 林	哲 生			
	二 見		伊 藤 一 頼			
		穂 原 衛				

※地域代表の地区表示については、各地区社会福祉協議会の名称となっています。

### 善 意 銀 行 からのお知らせ

平成17年10月から毎月、匿名で善意銀行への金銭預託(寄付)を継続して下さっている方がおられます。今回までの金銭預託の総額が101万円となりました。

毎回、あたたかい手書きのメッセージを添えて下さっています。

その善意に深く感謝いたしますとともに、福祉活動の増進を目指して大切に地域社会へ還元させていただきます。

ありがとうございます。



# ボランティアセンター活動の紹介

## 北摂ひまわり号がやってきた



6月29日(日)、天候が心配されましたが見事な快晴！  
障がい者専用団体臨時列車「ひまわり号」に乗って吹田、摂津、茨木、高槻の各市から400名を超える障がい者とボランティアが明石を訪れました。

文科学館への誘導、スタンプラリーで交流を深めました。

「こんなに温かく迎えてもらったのは初めて」という嬉しい言葉もいただいたアツイ一日の様子は写真をご覧ください。

ボランティア連絡会をはじめ地元ボランティア26名が出迎え、明石公園でのセレモニーのあと、魚の棚商店街や天文科学館への誘導、スタンプラリーで交流を深めました。



### ボランティア活動を終えて

#### ○参加したボランティアさんより

「明石市外の方々との交流ができ、普段は気付かない不便さに驚きました(駅の団体の改札口など)」「いろいろな人がいて、行動意欲があり、行動範囲が広く、ボランティアの方々も楽しそうにしている、視野が広がり楽しかったです」「スタンプラリーは好評でした」

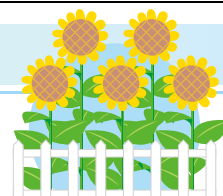
#### ○ボランティアセンター職員より

北摂ひまわり号のみなさんは、普段なかなか旅行にでかけることが難しく、今回の明石への旅行をととても楽しみにされていたそうです。社会福祉協議会としても、道案内のボランティアさんとひまわり号のみなさんが楽しく交流が出来るよう、「パパたこファミリーすたんぷらりー」やたこの帽子を準備するなどいろいろと工夫をしました。みなさん、明石を十分に満喫し「また来るわ!!」と笑顔で帰られました。





## 春のボランティア養成講座が終わりました



### ☆外出応援ボランティア（車いす）



車いすの養成講座では、初めに車いすの基本的な使い方、声かけ等を学習し、最終日には外での移動、買い物を体験し、館内では感じることでできなかった道路の凸凹等、新たな気づきを学ぶことができました。

### ☆外出応援ボランティア（ガイドヘルプ）



ガイドヘルプの講座では、日常生活の様々な場面での動きや注意点などを、DVDで見たり実際にアイマスクを付けて体験しました。初めは不安な中でのスタートでしたが、徐々にガイドさんとの信頼関係ができて、スムーズに移動や車の乗り降りができました。

### ☆子どもと寄り添うボランティア



受講生が、様々な子どもとふれあうための、遊びやものごとの伝え方などを童心に戻ったかのように楽しみながら学びました。

## 災害ボランティアの登録

災害時に、災害ボランティアセンターの運営や被災者の支援を行うために、個人または団体の災害ボランティアを事前に登録しています。

平常時は、災害、防災に関する研修会や、情報交換などの交流会を開催しています。資格については、特に必要ありませんので、あなたもぜひ登録してみませんか。

【お問い合わせ】 地域福祉係 ☎ 924-9105

○市立総合福祉センターからのお知らせ○

総合福祉センター温水プール

◎対象者：市内に在住する60歳以上の高齢者、及び障害者手帳をお持ちの障がい者（児）  
利用される方は事前にプール利用登録が必要（※原則、一人で入水可能な方）

◎費用：無料

◎申込：1ヶ月前から受付可

☆スイミング教室 泳げない方、もっと上手に泳ぎたい方向けに開催しています。

日時：毎月第3・4木曜日、14～15時・15～16時

定員：各15名

☆ウォーキング教室 健康維持や転倒防止を目的に、水中でのウォーキングや運動指導を開催。

日時：毎月第2木曜日、13～15時（入水時間 13時30分～14時15分）

定員：30名

☆わくわくプール 対象：市内在住の療育手帳をお持ちの方（※原則、一人で入水可能な方）

日時：毎月第1・3・5土曜日、13～14時

定員：30名

地域活動支援センター事業利用者追加募集

創作活動や日常生活訓練の機会を提供することにより、身体に障がいをお持ちの方が能力や適性に  
応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援することを目的として様々な教室  
を開催しています。

現在、下記の教室の定員に空きがありますので申込される方は障害者手帳と印鑑をお持ちのうえ、  
市立総合福祉センター窓口までお越しください。

童謡・唱歌 手話 カラオケ プリザーブドフラワー 写真 生花 体操  
囲碁・オセロ 七宝焼 点字

◎対象者：市内在住・在宅で、身体障害者手帳をお持ちの方  
（介護保険制度におけるデイサービス利用者を除く）

◎定員：若干名（各教室の定員になり次第締め切ります）

◎費用：無料（テキスト代、材料費は実費負担になります）

★トライやるウィーク

トライやる・ウィークは、中学生が地域社会での様々な活動を通じて、  
社会との関わりや自分自身の将来を考える機会を提供することを目的としている職場体験研修です。

当センターでは、6月2日から6日までの5日間、市内の中学2年生を2名受け入れ、総合福祉センター  
事業やケアサロンなどでのボランティア活動や車いすの介助などを体験してもらいました。

参加した中学生は、この体験を通じて「将来は、人の役に立つ福祉の仕事に就きたい」と夢を話してくれました。

▼プール教室



◀ボランティア養成講座

上記の詳しい内容については、下記へお問い合わせください。

明石市立総合福祉センター 平日 9～17時

明石市貴崎1丁目5-13 TEL.078-918-5660 FAX.078-918-5661

## 「ボランティアセンターNEWS」が創刊されました!!

### ◇創刊にあたって

明石市ボランティアセンターでは、地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、市民のボランティア活動を促進し、人と人がつながり合う豊かな場所（時間）づくりに努めています。

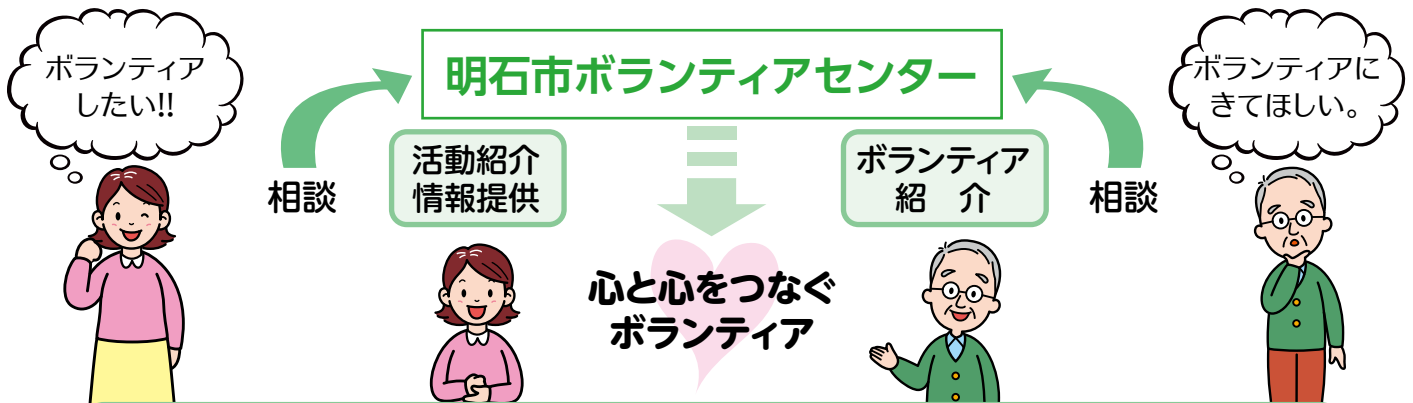
日々の活動の中で、多くの人のはじける笑顔やコツコツとした頑張りに触れています。

ボランティアセンターNEWSでは、ボランティアに関する情報をお届けするとともに、ステキな出会いや時間についても、皆さんにどんどんお伝えしていきたいと思っています。

創刊号は、総合福祉センターやふれあいプラザあかし西をはじめ、小・中コミセン、市内の高等学校等に配布しています。

### ◇ボランティアセンターとは

ボランティア活動をしたい人やボランティアの手を必要としている人からのご相談を受け、下記のようなボランティアのコーディネートをしています。



#### ボランティア活動をしたい方は・・・

ボランティアセンター宛てにお電話もしくは来所の上、お気軽にご相談ください。希望される活動内容や日時などをお聞きした上で、活動先などをご紹介します。

**\* 問い合わせ \*** 明石市ボランティアセンター 明石市貴崎1丁目5番13号  
明石市社会福祉協議会内  
TEL : 078-924-9105 FAX : 078-924-9109

### ボランティアサポーター<sup>(※)</sup>が、週3回下記にてボランティア相談を実施しています。

(※長年の経験を活かして、ボランティアに関する様々なアドバイスをを行い、みなさんと一緒にボランティア活動を盛り上げていく人たちの集まり)



- 相談場所：明石市立総合福祉センター 1階 受付  
(明石市貴崎1丁目5番13号  
ボランティア活動室 ☎078-924-9112)  
相談日時：毎週月曜日 13～16時
- 相談場所：ふれあいプラザあかし西 3階 ボランティア活動室  
(明石市二見町東二見1836番地の1  
☎078-945-0289)  
相談日時：毎週木・土曜日 13～16時

## インフォメーション

### 車いすの貸出・福祉機器リサイクル

市社会福祉協議会では無料で車いすの貸出を行っています。ぜひご利用ください。また、福祉機器リサイクル事業も行っていますので、電動ベッドや車いすなどのリサイクル品が必要な方はお申し出ください。また、ご家庭で使わなくなった再利用可能な電動ベッドや車いすなどがありましたらご連絡ください。

在宅福祉係 TEL078-924-9105

### 電動油圧式段差解消リフトお譲りします。

大久保町のご家庭で使わなくなったコンクリート床にアンカーで固定した電動油圧式段差解消リフトがあります。必要な方に無料でお譲りしたいとのことです。ただし、リフトの取り外しと運送に要する費用は譲り受ける方のご負担となります。

ご希望の方は、①住所、②氏名、③電話番号、④「リフト譲り受け希望」と記載したハガキを、明石市社会福祉協議会在宅福祉係（〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号）まで郵送してください（平成26年9月19日必着）。

希望者多数の場合は抽選します。当選された方には、明石市社会福祉協議会から通知しますが、リフトの引取りについては所有者の方と直接お話しをしていただくこととなります。

※リフトの写真（横）



※リフトの写真（正面）



#### 【仕様】

最大荷重	200kg
テーブル外寸法	1070×1412mm
テーブル内寸法	746×1097mm
テーブル高さ	20×710mm
昇降ストローク	690mm
上昇時間	約23/19秒 (50/60Hz) (定格負荷時)
下降時間	約10秒/700mm (定格負荷時)
操作方法	押しボタンスイッチ
電源	単相100Vアース付 (50/60Hz)
モーター	300W (15分定格)
ポンプ	ギア式 0.9/1.1/min (50/60Hz)
駆動方式	油圧
自重	94kg (本体) 25kg (油圧ユニット)

在宅福祉係

TEL 078-924-9105

